

第 1 3 回串間市農業委員会総会

日 時 平成 2 7 年 6 月 3 0 日 午後 3 時

会 場 串間市役所 3 階大会議室

出席委員 2 1 名

1 番 (会長)	川崎 善昭	9 番	日高 善次	1 6 番	島田 俊満
2 番	井手 重則	1 0 番	瀬治山満弘	1 7 番	金川 勇次
3 番	安田 敬司	1 1 番	鈴木 信	1 8 番	福田 孝義
5 番	内田 政秀	1 2 番	渡邊 豊雄	1 9 番	野邊 秀男
6 番	武田 康典	1 3 番	谷口 利則	2 0 番	山下 貴義
7 番	塔尾 秀雄	1 4 番	野邊 俊博	2 1 番	鳴海 正文
8 番	瀬治山秋美	1 5 番	吉田 友子	2 2 番	岩下 哲見

欠席委員 0 名

議事録署名委員 5 番 内田 政秀、 2 0 番 山下 貴義

議事日程

第 1	報告 (合意解約)	農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について
第 2	議案第 7 4 号	農地法第 3 条の規定による許可申請について
第 3	議案第 7 5 号	農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について
第 4	議案第 7 6 号	非農地証明願いについて
第 5	議案第 7 7 号	農用地利用集積計画の承認について (所有権移転)
第 6	議案第 7 8 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・一般農業者)
第 7	議案第 7 9 号	農地法第 3 条第 2 項第 5 号の規定による別段面積の見直しについて
第 8	議案第 8 0 号	農用地利用規定の認定に係る意見の聴取について

会 長	<p>それでは、只今から、第 1 3 回農業委員会総会を開催致します。本日の出席委員は、2 1 名でございます。</p>
会 長	<p>議事録署名委員の指名</p> <p>本総会での議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>議事録署名委員は、5 番 内田政秀 委員、2 0 番 山下貴義 委員にお願いします。</p>
会 長	<p>農地法第 5 条許可書の返上について</p> <p>審議に入ります前に、農地法第 5 条の規定による許可書の返上がありましたので、事務局より説明させます。</p>
事務局	<p>農地法第 5 条の規定により許可されました、平成 2 6 年 5 月 2 0 日付けシレイ 6 0 0 2 - 5 - 2 4、転用目的：太陽光発電施設につきまして、平成 2 7 年 6 月 1 0 日付けで許可書の返上がございました。理由につきましては、九州電力と売電価格及び期間の協議を進めておりましたが、決定する目途が立たないことから、今般、工事着手を断念されたものであります。平成 2 7 年 6 月 1 7 日付けで南那珂農林振興局長より受理通知がありましたので、ここに報告いたします。又、返上された申請地の一部については、今回の議案第 7 5 号、受付番号 2 番の一般個人住宅建設予定地の一部として申請されていることを申し添えます。以上でございます。</p>
会 長	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただちに議案審議に入ります。</p>
会 長	<p>報告：農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について</p> <p>まず報告、農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について事務局より報告させます。</p>
事務局	<p>農地法第 1 8 条第 6 項の規定による合意解約について報告いたします。今回の合意解約は 2 件でございます。内容といたしましては、賃人の申し出が、解約の理由となっております。お目通しいただきたいと思っております。以上でございます。</p>
会 長	<p>報告はお聞きのとおりであります。</p>

議案第 7 4 号：農地法第 3 条の規定による許可申請について

会 長

次に、議案第 7 4 号は、農地法第 3 条の規定による許可申請について、であります。
それでは、議案第 7 4 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 7 4 号、農地法第 3 条の規定による許可申請は受付番号 1 番から 3 番の所有権移転に関する 3 件であります。事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第 3 条第 2 項各号の不許可の事由につきましては、

「第 1 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第 3 号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第 4 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第 5 号」 権利取得を含めた経営農地が、50アールに達しない場合

「第 6 号」 今回の申請農地を、転貸しようとする場合

「第 7 号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合

であり、今回の許可申請受付番号 1 番から 3 番の 3 件については、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしく申し上げます。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号 1 番と 2 番の 2 件の説明をお願いします。

6 番

議案第 7 4 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号 1 番と 2 番の所有権移転に関する 2 件であります。まず、受付番号 1 番につきましては、受人は申請地に飼料を作付する計画であります。受人世帯においては、毎年、水稲と飼料等を作付されており、本人が年間 200 日以上 of 農業従事がある為、

6 番

機械保有・労働力・技術面についても問題はなく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、集落営農や担い手への農地集積にも積極的に参加され、周辺農地に影響がないよう配慮されるとのことでありますので問題ありません。次に、受付番号2番につきましては、申請地を相続した渡人が遠方居住で管理できないため、申請地近くで畜産を経営する受人が飼料を作付し規模拡大するものであります。受人は、38頭を飼育する畜産農家であり、毎年、飼料を作付しております。農業従事状況においても、本人が250日以上、両親の従事もある為、機械保有・労働力・技術面については問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、申請地周辺についても、同じく飼料作付があり、周辺農地の営農条件に支障を与える恐れ也没有ありません。以上、福島地区委員会において、受付番号1番と2番の2件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。本会議でのご審議方よろしくお願ひします。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号3番の1件の説明をお願いします。

1 4 番

議案第74号、農地法第3条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号3番の所有権移転に関する1件であります。この1件につきましては、渡人が県外在住で管理できないことから親族である受入へ贈与し、受入は甘藷を作付され規模拡大を図るものであります。受入は、食用甘藷主体の兼業農家ですが、農業従事状況につきましては、本人と妻、両親の従事があり、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、申請地周辺についても、食用甘藷の作付があるため、周辺農地の営農条件に支障を与える恐れ也没有ありません。以上、大東地区委員会において、受付番号3番の1件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。本会議でのご審議方よろしくお願ひします。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今から、議案第74号、受付番号1番から3番の3件について、質疑に入ります。質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第74号、受付番号1番から3番の3件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議無しということですので、議案第 7 4 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件は許可することに決定いたします。

議案第 7 5 号：農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 7 5 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 7 5 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 7 5 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は受付番号 1 番から 3 番の所有権移転に関する 3 件であります。農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実に認められない場合

「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号 1 番から 3 番の 3 件の申請地農地区分につきましては、農地法第 5 条第 2 項第 1 号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第 2 種農地」に区分されますので、農地法第 5 条第 2 項 1 号ロには該当しておりません。したがって、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号 1 番から 3 番の 3 件につきましては、許可要件の全てを満たしていると思われるので、皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より受付番号 1 番と 2 番の 2 件の説明をお願いします。

6 番

議案第 7 5 号、農地法第 5 条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号 1 番と 2 番の 2 件でございます。まず、受付番号 1 番の申請地は、周囲を山林に囲まれ、猪などの被害で耕作できないため山林として管理していくものであります。周囲は国有林のため、境界については、要所に杭が立ててあります。又、排水については、自然排水であります。近くには谷川もあり、周囲も全て山林である為、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれはなく問題ありません。次に、受付番号 2 番の受入は現在、借家に家族 3 人で居住しているが、子供の成長に伴い手狭になったことから、父母が居住する近くの申請地に個人住宅を建築するものであります。工事期間につきましては、許可後平成 2 7 年 8 月 1 日から同年 1 2 月 1 5 日までに完了する計画であります。尚、申請地の周囲には土砂流失防止のためブロックを積み、生活排水は合併浄化槽を通じて市道側溝に流すため周辺農地への影響はありません。以上、福島地区委員会におきまして、受付番号 1 番と 2 番の 2 件を慎重審議してきましたが、農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ございません。ご審議方宜しくをお願いします。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号 3 番の 1 件の説明をお願いします。

1 4 番

議案第 7 5 号、農地法第 5 条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号 3 番の 1 件でございます。受付番号 3 番の申請地は、周囲を山林に囲まれ、鳥獣害の被害で耕作できないため山林として管理していくものであります。周囲も山林であり、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれはありません。以上、大東地区委員会におきまして、受付番号 3 番の 1 件を慎重審議してきましたが、農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ございません。ご審議方宜しくをお願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。これより、議案第 7 5 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長 ないようですので、議案第 7 5 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件について、決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長 異議なしということですので、議案第 7 5 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

議案第 7 6 号：非農地証明願いについて

会 長 次に、議案第 7 6 号は、非農地証明願いについて、であります。それでは、議案第 7 6 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件を議題といたします。まず、事務局からの提案理由の説明を求めます。

事務局 議案第 7 6 号非農地証明願いについては、受付番号 1 番と 2 番の 2 件であります。非農地証明願につきましては、登記簿上の地目が農地である土地について、農地法第 2 条第 1 項にあります、耕作の目的に供される農地の定義に該当しないために、農地以外の地目に変更するための証明願いとなります。まず、受付番号 1 番につきましては、申請地への進入路が細く、農地として管理していくことが困難で、現況は原野の状態にあります。昭和 5 1 年 7 月 5 日施行『宮崎県証明書交付手続要領』にあります、非農地認定基準の『10 年以上耕作放棄されかつ将来的にも農地として使用することが困難な土地のうち次の全ての要件を満たしていること（ア）農業振興地域の整備に関する法律に基づく農業振興地域整備計画における農用地区域内の土地でないこと、（イ）農業生産力の高い農地、土地改良事業等の農業に対する公共投資の対象となった農地でないこと、（ウ）集団性のある優良農地内でないこと』の全ての要件に該当する申請となっております。

次に、受付番号 2 番につきましても現況は宅地であり、非農地認定基準の『農地法施行（昭和 2 7 年 1 0 月 2 1 日）以前から農地以外の土地であったもの』に該当する申請となっており、申請書類上におきましては問題ないと思われます。又、非農地証明願につきましては、該当地が農地でないという証明になりますので、名義が変更されるわけではございません。皆様のご審議をお願いします。以上でございます。

会 長 説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より受付番号 1 番と 2 番の 2 件の説明をお願いします。

6 番

議案第 7 6 号、非農地証明願いについて、福島地区は受付番号 1 番と 2 番の 2 件でございます。まず、受付番号 1 番につきましては、所有者は大阪に居住しており、両親の死亡後に相続したものであり、10 年以上放置されております。周囲は住宅地であり、申請地への進入路は狭く農地として利用することが困難な状態であり、所有者も遠隔地で管理できないため、今回の申請は問題ありません。次に、受付番号 2 番につきましても、建売の土地を購入し現在に至っておりますが、地目が農地のままであることが発覚し、今回申請されたものであり、農地法施行以前の建設である為、問題ありません。以上、福島地区において、受付番号 1 番と 2 番の 2 件の非農地証明願いを慎重審議してきましたが、何等問題ございません。本会議でのご審議方お願い致します。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。これより、議案第 7 6 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 7 6 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第 7 6 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件は、決定して非農地証明を発行いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会 長

次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、であります。審議に入ります前にあらかじめ、市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局

平成 27 年 6 月分につきましては、串間市長より平成 27 年 6 月 16 日付で、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 1 項の規定による農用地利用集積計画の決定が求められております。
内容につきましては、議案第 77 号・所有権移転が 1 件・面積が 955 m²、議案第 78 号・受入が一般農業者である利用権設定が 3 件・面積が 9,123 m²であります。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。それでは、ただいまから市からの提案について、審議に入ります。

議案第 7 7 号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転分

会 長

議案第 7 7 号は、農用地利用集積計画の所有権移転の承認について、であります。
それでは、議案第 7 7 号、受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。
まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 7 7 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は、受付番号 1 番の 1 件であります。この 1 件について、説明いたします。

「農用地利用集積計画の承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項、
第 1 号) 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること。

第 2 号) イ 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること。

第 2 号) ロ 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること。

であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番の 1 件については、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。それでは、只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。福島地区委員会より、受付番号 1 番の 1 件をお願いします。

6 番

議案第 7 7 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号 1 番の 1 件でございます。この 1 件において、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番の 1 件においては、該

6 番

当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

只今から、議案第 7 7 号、受付番号 1 番の 1 件について、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案 7 7 号、受付番号 1 番の 1 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議無しということですので、議案第 7 7 号、受付番号 1 番の 1 件について、決定して市へ通知します。

議案第 7 8 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・一般農業者分

会 長

次に、議案第 7 8 号は、農用地利用集積計画の利用権設定・一般農業者分について、であります。

それでは、議案第 7 8 号、受付番号 1 番から 3 番の 3 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 7 8 号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、一般農業者分であります。今回の譲受人が一般農業者分につきましては、受付番号 1 番から 3 番の 3 件であります。この 3 件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番から 3 番の 3 件につきましては、議案第 7 7 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。また、受付番号 1 番と 3 番の 2 件につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項第 4 号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。ただし、契約期間が 5 年を超えない利用権の設定の場合には、所有権を有する者の 2 分の 1 を超える同意が得られていれば足りることとなっております。受付番号

事務局

1 番と 3 番の 2 件につきましては、契約期間が 5 年を超えておらず、所有権を有する者の 2 分の 1 を超える同意が得られているため、該当要件を満たしております。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、福島地区委員会より、受付番号 1 番の 1 件の説明をお願いします。

6 番

議案第 7 8 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、福島地区は受付番号 1 番の 1 件でございます。この 1 件においては、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番の 1 件においては、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願い致します。

会 長

次に、本城地区委員会より、受付番号 2 番の 1 件の説明をお願いします。

1 8 番

議案第 7 8 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、本城地区は受付番号 2 番の 1 件でございます。この 1 件においては、渡人は高齢で管理ができない為、受人が快く承諾いただいております、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、本城地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 2 番の 1 件においては、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願い致します。

会 長

次に、都井地区委員会より、受付番号 3 番の 1 件の説明をお願いします。

2 0 番

議案第 7 8 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、都井地区は受付番号 3 番の 1 件でございます。この 1 件においては、渡人は高齢で管理ができない為、受人が快く引き受けていただいております、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、都井地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 3 番の 1 件においては、該当要件をすべて満た

20番

しているため、なにも問題ありません。ご審議方お願い致します。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

只今から、議案第78号、受付番号1番から3番の3件について、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案78号、受付番号1番から3番の3件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議無しということでありますので、議案第78号、受付番号1番から3番の3件について、決定して市へ通知します。

議案第79号：農地法第3条第2項第5号の規定による別段面積の見直しについて

会 長

次に、議案第79号は、農地法第3条第2項第5号の規定による別段面積の見直しについて、であります。
平成21年施行の改正農地法により、農業委員会は別段面積を設定することができる、となっております。
また、「農業委員会の適正な事務実施について」により、農業委員会は毎年別段の面積設定又は修正について審議することとなっているため、今回提案するものでございます。
それでは、提案内容説明を事務局から求めます。

事務局

議案第79号、別段面積いわゆる下限面積の見直しについて、提案内容を説明いたします。設定基準につきましては、各地区委員会でお配りしました検討資料に記載させていただいておりますが、農地法施行規則第17条各号でございます。提案内容としましては、2010農林業センサスで、50アール未満の農家数が管内全体で12%。都井地区のみが約23%であり、平成26年度の利用状況調査の結果、管内の遊休農地率は1.9%と低い状況に変動はなく、又、26年度は5名の新規就農者がありましたが、昨年度において、別段面積を下回る許可申請はなかったことから、現行の別段面積のとおり串間市のうち都井地区のみを40

事務局	<p>アールとし、その他の区域は５０アールでご提案いたします。尚、来年３月には農林業センサス２０１５版の速報値が公表されますので、その推移を見比べながら来年度において調整及び提案させていただきたいと考えております。以上でございます。</p>
会 長	<p>説明はお聞きのとおりであります。 それでは、ここで、各地区委員会でご審議いただいた結果報告を各地区会長より報告願います。 まず、福島地区会長より、お願いします。</p>
３ 番	<p>福島地区においては、水田を中心とした早期水稻・施設園芸・肉用牛・食用甘藷・ごぼう等の複合経営が行われ、土地利用型農業の確立した地域であり、農業者の安定した農業経営並びに収入確保や担い手への農地集積を図るためには、一定の経営農地が必要であるため、これまでどおり５０アールを別段の面積として設定しても問題ありません。</p>
会 長	<p>次に、大東地区会長より、お願いします。</p>
１３ 番	<p>大東地区においては、食用甘藷を基幹作物として、施設果樹・肉用牛・茶などの経営が行われ、土地利用型農業の確立した地域であり、農業者の安定した農業経営並びに収入確保や担い手への農地集積を図るためには、一定の経営農地が必要であるため、これまでどおり５０アールを別段の面積として設定しても問題ありません。</p>
会 長	<p>次に、本城地区会長より、お願いします。</p>
１７ 番	<p>本城地区においては、水田を中心とした早期水稻・施設園芸・肉用牛・食用甘藷・ごぼう等の複合経営が行われ、土地利用型農業の確立した地域であり、農業者の安定した農業経営並びに収入確保や担い手への農地集積を図るためには、一定の経営農地が必要であるため、これまでどおり５０アールを別段の面積として設定しても問題ありません。</p>
会 長	<p>次に、都井地区会長より、お願いします。</p>

20番

都井地区においては早期水稻を中心とした 施設園芸との複合経営が主に行われており、施設園芸部門の担い手が中核を担っている地域であります。また、水稻の複合経営を行っている農業者がほとんどでありますので、これまでどおり40アールの設定で問題ありません。

会長

次に、市木地区会長より、お願いします。

21番

市木地区においては、早期水稻を中心にオクラ・ごぼう・露地野菜等の複合経営が行われている地域であります。農業者の高齢化率が串間市で最も高く、担い手や後継者等の確保が非常に困難となっている現状であります。農業者が行っていく上で一定の経営面積が必要であることから、これまでどおり50アールの設定で問題ありません。

会長

報告は、お聞きのとおりでございます。それでは、議案第79号、農地法第3条第2項第5号の規定による別段の面積の見直しについて、質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会長

ないようでございますので、議案第79号、農地法第3条第2項第5号の規定による別段の面積の見直しについて、提案のとおり決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会長

異議無しということですので、議案第79号、農地法第3条第2項第5号の規定による別段の面積の見直しについて、提案のとおり別段の面積を決定いたします。
暫時休憩いたします。

(・・・農業振興課・農政企画担当者 入室・・・)

議案第80号：農用地利用規定の認定に係る意見聴取について

会長

休憩前に引き続き会議を開きます。

会 長 次に、議案第 8 0 号は、「市木地区農用地利用改善団体」並びに「西前地区農用地利用改善団体」の農用地利用規程の認定に係る意見聴取について、であります。それでは、農業振興課・担当者からの説明を求めます。

(・・・農政企画係 担当者説明・・・)

会 長 説明は、お聞きのとおりでございます。それでは、只今の説明に対し、質疑に入ります。質疑はございませんか。

会 長 ないようですので、担当課の退席を求めます。
暫時休憩します。

(・・・農政企画係 担当者退席・・・)

会 長 休憩前に引き続き会議を開きます。それでは、只今の説明に対して、委員の皆さんより意見を求めます。何かありませんか。

3 番 議案第 8 0 号について、農用地利用規定を提出された西方・田口地区が福島地区管内でありますので、意見を述べさせていただきたいと思います。今回の「西前地区農用地利用改善団体」から提出された、農用地利用規程につきましては、農業者の高齢化・後継者不足による担い手不足という西方・田口地区の現状から、同地区の農業振興を図るため、農用地の有効利用と農業経営改善を促進する取り組みとして設けられたものでございまして、西前地区農用地利用規定第 2 条第 1 項各号にありますように、①作付地の集団化、②農作業の効率化、③農用地利用集積と耕作放棄地防止・解消を図るための農用地利用改善団体の設立であることから、提出された農用地利用規程の認定について妥当であると思います。

会 長 ありがとうございます。他にありませんか。

2 1 番 議案第 8 0 号について、農用地利用規定を提出された地区が市木地区でありますので、意見を述べさせていただきたいと思います。今回の「市木地区農用地利用改善団体」から提出された、農用地利用規程につきまして

2 1 番

は、農業者の高齢化・後継者不足による担い手不足という市木地区の現状から、同地区の農業振興を図るため、農用地の有効利用と農業経営改善を促進する取り組みとして設けられたものでございまして、市木地区農用地利用規定第2条第1項各号にありますように、①作付地の集団化、②農作業の効率化、③農用地利用集積と耕作放棄地防止・解消を図るための農用地利用改善団体の設立であることから、提出された農用地利用規程の認定について妥当であると思います。

会 長

3番委員と21番委員からだされた意見につきましては、先ほど説明のあった農用地利用規定が、地域の実情に十分に踏まえた規定になっているとの意見でございます。他に意見はありませんか。

(なしの声)

会 長

それでは、お諮りいたします。3番委員と21番委員からだされた意見を付して、農用地利用規定が妥当であると市へ通知することに、異議はありませんか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、出された意見を付して農用地利用規定が妥当であることを通知します。以上で先に送付いたしました議案の審議は全部終了いたしました。慎重・審議誠にありがとうございました。